



爽やかな初夏を迎え、皆様にはますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
子ども達にとってこの季節は、活動範囲が広がり、且つ多くのことを吸収していく時でもあります。

先月までに学校では避難訓練、交通安全教室と子ども達の安全確保に対する指導が行われました。また、6月4日には、防犯教室も予定しています。ご家庭でも、交通事故や不審者等に対する注意喚起をしていただきますようお願いいたします。

教育活動あらかると

遠足(5/2) 1, 2年:(和田山)
3, 4年:(辰口丘陵公園)



2年生、4年生が皆で楽しめる遊びやゲームを考えました。出発式では、遠足実行委員の皆さんが司会進行し、とても頼もしく思えました。

人権の花贈呈式(5/23)

小松人権擁護委員の皆さんから、人権の花運動の一環として、プランターの花や人権標語のパネル等をいただきました。児童を代表して6年：西田那月さんが、花を大切に育てるとともに、みんな仲良く、いじめの無い学校づくりに努力していくことを誓いました。



6年 大高悠綺さんの標語が最優秀賞に選ばれ、パネルとなって中央玄関に掲げられています。

給食試食会(5/24)

学校給食が栄養のバランスを考え、安心・安全を心がけて作られていることを知っていただくために、例年、1年生保護者を対象に給食試食会を実施しています。今年度は26名の参加者があり、多くの意見をいただきました。



【後記】

本校では、ご存じのように、給食を自前で(給食自校方式)調理しています。この自校方式では、できたての温かい給食が提供でき、回数や時間について柔軟に対応できるといった多くの利点があります。

全国的には、自校方式ではなくて、公営または民間委託の共同調理場センター方式で何百食、何千食もの給食を作り、それらを各学校に配送するセンター方式が主流となっています。こうした行政の経費削減や合理化の波が学校にも押し寄せてきているのです。

ところで、本校の調理員の中に、子供たちの登校時間帯に徒歩で通勤している方がいます。子ども達から「おばちゃん。今日の給食は、何？」と尋ねられるのをとても楽しみにしているそうです。食育の重要性が謳われている中、作っている人が見える給食、作っている人の思いが伝わる学校給食をめざしていきたいと思っています。